■令和３年度執行目標（達成状況）　上下水道部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目（単位）	根拠計画等	R3年度実績値	R3年度目標値
上下水道部	水道業務課	1	**水道料金及び公共下水道使用料審議会の開催**	「安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道」を将来にわたって維持するため、経営基盤強化について検討する。	概ね達成	現行の水道料金体系を維持しつつ、さらなる経費の軽減に努めることを骨子として、答申を行った。				
上下水道部	水道業務課	2	**水道事業広域化・広域連携の検討**	京都府南部圏域（１府８市７町１村）における水道事業広域化・広域連携について研究する。 【京都府南部圏域構成事業者】 　京都市、宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、 　井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、府営水道	概ね達成	京都府営水道経営審議会のヒアリング等に水道事業管理者が出席し、木津川市水道の現状、京都府営水道受水費のあり方や広域化に対する意見などを説明した。また、広域化した場合の財政効果を試算するよう京都府に要望した。				
上下水道部	水道業務課	3	**上下水道部組織見直しの検討**	上下水道の経営基盤強化と危機管理体制の充実を図るため、上下水道部組織の見直しを検討する。	概ね達成	令和5年4月1日から公共下水道事業の地方公営企業法全部適用、上下水道事業管理者及び１部２課６係体制への変更が決定した。				
上下水道部	水道工務課	1	**布設水道管の更新整備**	経年劣化している水道管（石綿管含む）の更新整備を進めていく。 なお、本年度から基幹管路部分の更新に取り掛かる。	概ね達成	平成２７年度に策定した石綿管更新計画においては、令和３年度に完了した。引き続き老朽管を耐震管に更新することで、災害に強い管路の構築を進めていく。	工事施工延長（m）		135	135
上下水道部	水道工務課	2	**山城浄水場の更新**	山城浄水場の全面更新に向け、施設の耐震化を実施し上水道の安定供給を図るべく、浄水施設更新の詳細設計及び新たな深井戸水源確保のための詳細設計を行う。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	施設の耐震化を図り、新規の深井戸による水源の確保や供給電力の二重化によるバックアップ電力の確保など、上水道の安定供給を図る詳細設計が出来た。				
上下水道部	下水道課	1	**汚水処理施設の概成**	公共下水道は、生活環境の改善や公共水域の保全のため早期の普及が求められている。また、整備については、地理的・社会的条件に応じた費用体効果を検証し効率的な執行を図る。	概ね達成	面整備工事を木津地区で３件、山城地区で３件実施したことにより、普及面積が５．４ha拡大された。今後は、面整備工事の概成に向け課題地区の整理を行う。	普及面積（ｈａ）	公共下水道事業計画	５	７
上下水道部	下水道課	2	**ストックマネジメント計画の運用**	木津川市下水道ストックマネジメント計画及び木津川市国土強靭化地域計画に基づき、計画的かつ効率的な維持管理を行い、改築費用の低減や平準化を図るとともに、災害時に下水道機能を確保するため終末処理場等の耐震化を図る。	概ね達成	加茂浄化センターの耐震診断業務を実施し施設内の診断は概ね終了したが、一部再検証を行う必要性が残った。また、債務負担行為により令和４年度と２カ年で実施する加茂浄化センター監視制御装置更新工事においては、国費の追加配分が有った事から、令和４年度に執行予定であった費用を前倒しで受け繰越事業とし令和４年度に完成する予定である。	業務件数	木津川市下水道ストックマネジメント計画	３	３
上下水道部	下水道課	3	**木津川市公共下水道事業の経営基盤強化**	将来にわたり安定的に独立採算による下水道事業を継続するため、下水道使用料の適正化を進めるとともに更なる経営基盤強化を図る。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	下水道使用料の適正化については、水道料金及び公共下水道使用料審議会の答申に基づき使用料の改定が図れた。今後は、広報紙やホームページにより住民周知を進め、令和５年１月改定に向け事務を進める。また、経営改善の一環として取り組む上下水道部の組織統合においても、政策決定を受け、令和５年４月１日の実施に向け事務を進める。				